

一般社団法人日本人間工学会第 32 回理事会 議事録

1. 開催日時：平成 28 年 1 月 12 日（火） 15：02～17：37
2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス 5 号館 2 階 524 会議室
3. 出席者： <敬称略>
 - ・理事会構成員(26 名・定足数 14 名以上)(理事)：青木和夫(理事長・学術)，徳田哲男(副理事長・企画)，榎原毅(広報)，大久保堯夫，大倉元宏(財務)，小谷賢太郎(国際)，斉藤進(表彰・子供の ICT 活用委員会)，三林洋介，堀江良典(総務)，三宅晋司(財務)，矢口博之，吉村健志 [12 名]
(理事兼支部長)：本多薫(東北・総務)，斎藤真(東海・第 57 回大会長) [2 名] [計：14 名]
(欠席者)：酒井一博(役員選出に関する検討委員会)，石田敏郎，大須賀美恵子(編集)，芳賀繁(安全人間工学委員会)，福田康明，横山清子(学術)，吉武良治(人間工学専門家認定機構長・第 5 期選管)，横山真太郎(北海道)，阿久津正大(関東)，川野常夫(関西)，岡久雄(中国・四国)，和田親宗(九州・沖縄)
 - ・監事：赤松幹之
 - ・オブザーバー：水野有希
 - ・事務局：栗田紀子，米倉裕美

4. 議事概要

定足数 14 名を満たす 14 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

- (1) 第 1 号議案 問い合わせのフロー(案)，学会ロゴ規定(案)について (広報)
榎原広報委員長より，JES へ寄せられる問い合わせに組織的に対応するための「JES への質問などに関する対応フロー(案)」について説明がなされ，審議を経て承認された。続いて，日本人間工学会シンボルマーク・ロゴ規定(案)について説明がなされ，審議を経て承認された。
- (2) 第 2 号議案 代議員及び役員選挙規程の改訂(役員選出に関する検討委員会)
堀江総務理事より，一般社団法人日本人間工学会代議員及び役員選挙規程の第 13 条において，「当選者のうち 2 期連続して留任可能な理事は上位 10 名とし，」の部分削除したい旨，説明がなされた。選挙期間中の規程改訂であるので，会員に十分な説明をすることを条件に改定案を承認した。なお，本日付けで施行することを確認した。
- (3) 第 3 号議案 法人事業推進特定預金取崩について (財務)
三宅財務理事より，例年予算に計上していた法人事業推進特定預金取崩収入を，本年度予算案に計上していなかったとの報告がなされた。今後の予算執行に支障をきたすため，法人事業推進特定預金から取り崩しを行いたい旨，提案がなされ，審議を経て承認された。
- (4) 第 4 号議案 IEA Future of Ergonomics 関連調査活動について (IEA，国際)
小谷国際協力委員長より，「将来の人間工学を見据えた IEA の役割に関する戦略的提言“Future of Ergonomics (FoE)”」を実践に移す活動に，JES として協力するための関連調査活動について提案説明がなされた。旅費交通費等の活動費を来年度予算に計上することが了承された。
- (5) 第 5 号議案 IEA ニュースレターの再開とウェブサイトへの掲載について (国際)
小谷国際協力委員長より，IEA からの情報を広報委員会経由で会員に提供する IEA ニュースレターの再開とウェブサイトへの掲載について説明がなされ，審議を経て承認された。
- (6) 第 6 号議案 2017 年の第 58 回大会開催地について (理事長)
青木理事長より，第 58 回大会について，関東支部が担当となり，小谷国際協力委員長を大会長として ACED2017 との同時開催で，千葉県千葉市幕張メッセにて開催したい旨，提案がなされ，審議を経て承認された。
- (7) 第 7 号議案 その他
大久保理事より，故杉山貞夫先生の IEA 及び本学会に対する功労を讃える顕彰の提案がなされ

た。審議の結果、顕彰の具体化は総務で、またご遺族からの寄付金の使途については表彰委員会で検討することとなった。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第31回理事会議事録

堀江総務理事より、メール審議を経て第31回理事会議事録が確定した旨、報告があった。

(1-2) 会勢報告(12月末)

堀江総務理事より、平成27年12月末の会員数1,543名、賛助会員29社30口との報告があった。

(1-3) 賛助会員について

堀江総務理事より、新規入会の賛助会員1社に出向き、学会の説明を行った旨、報告があった。また、賛助会員に対する特典の拡充を検討する必要がある旨、意見が出された。

(2) 財務報告

三宅財務理事より、平成27年12月度収支決算の報告があった。

また、1月からマイナンバー制度の利用が始まったので委員会・担当、機構、支部、研究部会等において旅費、人件費等の支出の際は手続きが必要になる。詳細は事務局より関係各位宛に連絡すると報告があった。

(3) 第57回大会準備状況

斎藤真第57回大会長より、理事会、東海支部主催チュートリアル、エクスカージョンを6月24日に開催する旨、運営組織体制、大会テーマ、シンポジウムについての概要説明がなされ、開催準備を滞りなく進めている旨、報告があった。

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 広報委員会

榎原委員長より、学会Webサイトによる情報発信、GPデータベースへの事例応募状況(10件掲載)、50周年記念企画への対応等の説明があった。

(4-2) 編集委員会

榎原副委員長より、学会誌「人間工学」の発行状況と次号の進捗状況、論文投稿数の推移と採択率、電子査読システムの運用開始、クイックレビュー2016について報告があった。

(4-3) 国際協力委員会

小谷委員長より、ACED2017準備状況、第18回JES/ESKジョイントシンポジウムについて報告があった。

(4-4) 人間工学専門家認定機構

堀江総務理事より、専門家交流会(CPEサロン)の開催、関東支部大会第45回大会でのCPE企画セッションの開催等について報告があった。

(4-5) 第5期選挙管理委員会

堀江総務理事より、第5期代議員及び役員選挙管理委員会の進捗状況及び日程について説明がなされた。

(5) 支部報告

(5-1) 北海道支部

欠席

(5-2) 東北支部

本多支部長より、2015年12月19日に支部役員会・研究会を開催した旨、報告があった。

(5-3) 関東支部

矢口理事より、2015年度支部大会を12月12、13日に東京電機大学にて矢口博之大会長のもとで開催した(参加者208名)、および2016年度支部大会を12月3、4日に高崎経済大学にて開催する予定である旨、報告があった。

(5-4) 東海支部

斎藤真支部長より、2015年度支部大会を11月14日に愛知みずほ大学にて山根基大会長の

もと開催した旨、及び1月9日に支部役員会を開催し、支部長を選出した旨報告があった。

(5-5) 関西支部

小谷理事より、11月12日に2015年度見学会(大阪府立産業技術総合研究所)を実施した、2015年度支部大会を12月5、6日に大阪府立大学にて有馬正和大会長のもと開催した(参加者147名)等の報告があった。

(5-6) 中国・四国支部

堀江総務理事より、第1回支部理事会、支部総会及び第48回支部大会を12月13日にサテライトキャンパスひろしまにて樹野淳也大会長(近畿大学)のもと開催した(参加者74名)旨、報告があった。

(5-7) 九州・沖縄支部

三宅理事より、第36回支部大会を10月25、26日に川棚グランドホテルにて藤木通弘大会長(産業医科大学)のもと開催した旨、報告があった。

(6) 協賛等の依頼

堀江総務理事より、7件の依頼について協賛する旨、報告があり、承認された。

(7) その他

(7-1) 今後の理事会日程について

堀江総務理事より、第33回理事会を平成28年5月中旬頃に開催予定で、日程については後日メールアンケートを実施する、第34回理事会を6月24日、第35回理事会を6月25日に三重県立看護大学にて開催する旨、報告があった。また、3月末までに事業報告、決算、事業計画、予算等を提出していただきたいとの依頼があった。

(8) 閉会

以上の議事を終え、17時37分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

平成28年1月12日

代 表 理 事

青 木 和 夫[Ⓔ]

監 事

赤 松 幹 之[Ⓔ]